

# 徳地の森でよさこい合宿 ～踊りでつながれ！ヨイヤッサー！～

令和2年2月15(土)～16日(日)

【目的】よさこい演舞の体験を通して、表現することの楽しさや達成感を味わう。

大学生との交流を通して、将来の自己イメージの獲得を図る。

【参加者】小学生38名、中学生3名 合計41名 【講師】大学生10名

【プログラムの内容】

## 1日目

- 10:30 はじめの会
- 10:45 ふれあいタイム
- 11:45 演目の選択 (3曲から踊りたい曲を1曲選ぶ)
- 13:30 踊りの練習①
- 17:00 タベのつどい・食事
- 18:30 踊りの練習②

## 2日目

- 9:10 踊りの練習③
- 11:00 道の駅「仁保の郷」へ移動
- 14:15 演舞発表会  
(仁保地域交流センターにて実施)
- 14:50 おわりの会

講師：山口県立大学  
よさこい部「奄美連合萩組」のみなさま  
ふれあいタイム



何度も本所を利用したことがある子供も多く、参加者同士、参加者とよさこい部の方々との声の掛け合いや、一緒に笑ったり、悔しがったりする姿が多く見られた。これからの活動を一緒に取り組むための雰囲気が作られているように感じた。



山口県立大学奄美連合萩組の皆さまには、毎年本所を利用していただいている。その際、彼女たちの笑顔や凡事徹底される姿が素晴らしく、小中学生達の未来モデルとして関わってもらいたいと思い、講師をお願いした。はじめに踊りを披露していただいた。

## 踊りの練習



3曲の中から自分が踊ってみたい曲を1曲選び、2日間たくさん練習した。鳴子の鳴らし方から、よさこい演舞は自分だけではなく、全員が揃って踊ることで、素晴らしい演舞ができるということまで、講師の方に教えていただいた。

難しい振り付けは、講師の方に直接教えてもらったり、何度も繰り返し休み時間まで練習したりする姿が多く見られた。

最終練習の時間まで、みんなで上手に踊ることができるように、小グループを作って見せ合いながら踊りの確認をしたり、よりよくなるためのアドバイスをし合ったりしていた。

講師に「どうしてそんなに笑顔が素敵にできるのか」「上手にかっこよく見えるためのコツは何か」など積極的に尋ねている姿も印象的であった。

## 演舞発表会



天候の影響で「仁保地域交流センター」にて、2日間の成果を発表する演舞発表会を開催した。100人近くのお客さんを目の前に、笑顔で楽しそうに演舞している姿はとても輝いていた。

よさこい合宿を通して、踊りだけでなく、笑顔、楽しさ、優しさを教えていただいた。また、講師の皆さんから、子供たちの「体力的に大変と思ってもやりたい！」という熱き気持ち「休み時間でも意欲的に練習している姿」「チーム一丸となった笑顔あふれる素敵な演舞だった」など2日間の様子や練習、演舞会の姿を褒めていただき、頬を緩ませている子供たちの表情が多く見られた。



## 【参加者の声】

「楽しくみんなと協力して踊れて楽しかった」、「大学生のお姉さんたちが優しく笑顔で教えてくれてみんなとも仲良くできた」、「よさこいじゃなくても、みんなと一緒にやったことは学校や普段の生活に役立つ」、「生活でも踊りでも、楽しくて、仲間と協力してできた」などの声があった。

【成果】 全体満足度「4」は98%、「3」は2%であった。大学生から見習いたいと思ったことで、「笑顔」、「誰にでも優しく接すること」、「表現することを楽しむこと」、「人へのコミュニケーション能力」といった記述が多く見られ、大学生が子供達の将来のモデルとなっていたことが伺えた。

雨天時の会場準備、保護者への連絡はスムーズに行えた。

【課題】 発表会場の広さに対し、講師の方とイメージの共有が不十分であった。急遽、グループごとの練習時間を入れて対応できたが、音響等の必要物品に関しても併せて十分な打ち合わせが必要であった。